



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社
 コード番号 366A URL <https://wellcoms.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松田 泰秀
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 佐々木 雅之（TEL）03(5544)9898

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,492	—	119	—	106	—	72	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.09	12.82
2025年3月期第1四半期	—	—

（注） 1. 当社は、2025年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2025年6月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2026年3月期第1四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,146	4,551	63.6
2025年3月期	5,182	3,457	66.6

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 4,545百万円 2025年3月期 3,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	42.75	42.75
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	42.77	42.77

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,790	5.2	1,239	11.7	1,213	10.1	855	10.2	141.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益については、公募株式数（550,000株）及びオーバーアロットメントによる売出に関する第三者割当増資分（224,900株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,998,200株	2025年3月期	5,448,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	—株	2025年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,502,596株	2025年3月期1Q	—株

(注) 当社は、2025年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等、将来に関する情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要素により、これらの掲載されている情報と大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業的前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調となったものの、米国の関税政策及びウクライナ情勢・中東情勢の長期化による海外景気の下押しリスクの影響を注視する必要がある、依然として先行きが不透明な状況は続いております。

当社の対面市場におきましては、労働安全衛生法により従業員の健康診断や、結果の保管・報告、産業医の選定が義務付けられており、企業のコーポレート・ウェルネスに関する法令対応が必要不可欠な市場環境となっております。それらの法令対応に加えて、働き方の多様化、ダイバーシティ推進等の観点からも健診ソリューション事業及び健康管理クラウド事業の需要が益々増加すると見込まれます。

このような状況下において、当社は、健診ソリューション事業及び健康管理クラウド事業における新規顧客の開拓や既存顧客との取引深耕に取り組みながら、健診ソリューション事業の再構築・高付加価値化及び健康管理クラウド事業を起点としたコーポレートウェルネス・バリューチェーンの構築・推進を並行して進めております。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,492百万円、営業利益は119百万円、経常利益は106百万円、四半期純利益は72百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は以下の通りです。

(健診ソリューション事業)

健診ソリューション事業におきましては、労働安全衛生法に基づいて、従業員の健康管理・安全管理を行うことは、健康診断の実施・記録・届出に不可欠であります。それらに関する事務リソースを削減し、受診勧奨による健康診断受診率の向上や有所見者への事後措置の強化等を目指す企業が導入しております。また、当社オペレーションの生産性は、2023年6月にAI-OCR等を活用した情報処理方法及び独自開発した情報処理プログラムについての特許（特許7304604）を取得する等、生成AIを活用したシステム化等の投資に注力し向上を図っております。なお、健康診断は夏から秋にかけて受診のピークを迎えるため、それに伴う業績は第2四半期及び第3四半期に偏重する傾向にあります。この結果、当第1四半期累計期間のサービス利用者数（※1）は、6.5万人となり、当事業の売上高は2,118百万円、営業損失は73百万円となりました。

(健康管理クラウド事業)

企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正により、サステナビリティ情報や人的資本情報の開示が義務化される等、企業は法令等への対応や社会的責任への対応による従業員の健康管理に関する環境整備や体制強化が求められており、大企業を中心に、より一層非財務情報の中核にある人的資本投資や健康経営の推進が重視されています。

健康管理クラウド事業におきましては、このような従業員の健康管理を戦略的な経営資源と捉える企業等からの受注が継続的に拡大しております。また、パートナーセールスの強化戦略による市場獲得の加速化もあり、当第1四半期累計期間においては新たに8社の企業グループが利用を開始し、堅調な売上で推移いたしました。この結果、当事業の売上高は315百万円、営業利益は186百万円となりました。

(医療機関等支援事業)

医療機関等支援事業におきましては、主なサービスであるPET検査関連事業（※2）及び健康診断予約手配等を行うBPOサービスは、堅調に推移いたしました。また、医療従事者の働き方改革に向けた医療機関DX推進として、医療機関向けにGrowbaseを提供しております。この結果、当事業の売上高は58百万円、営業利益は6百万円となりました。

※1：サービス利用者数は、当社ネットワーク健康診断サービスを通じて健康診断を希望する日程・医療機関を受付け、健康診断結果データの出荷まで完了した利用者数です。前期まで客観的な指標として使用していた出荷数に代わり、当期からサービス利用者数を客観的な指標としております。なお、出荷数とサービス利用者数は同数になります。

※2：PET はがん等の病変を検査する画像診断法の一つである「陽電子放射断層撮影法」を表し、ポジトロン・エミッション・トモグラフィー(Positron Emission Tomography) の略です。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、7,146百万円となり、前事業年度末から1,964百万円増加となりました。流動資産の残高は5,958百万円となり、前事業年度末から2,003百万円増加となりました。

主な要因は株式上場に伴う新株発行の払込等により現金及び預金が907百万円、健診ソリューション事業及び健康管理クラウド事業の売上が堅調に推移したことにより売掛金が851百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,595百万円となり、前事業年度末から870百万円増加となりました。流動負債の残高は2,539百万円となり、前事業年度末から870百万円増加となりました。

主な要因は健診ソリューション事業のサービス利用者数の増加による仕入増により買掛金が906百万円、ネットワーク健康診断サービスの健康診断受診料及びGrowbaseの利用料の前受金として契約負債が210百万円増加した一方で、納税により未払法人税等が175百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、4,551百万円となり、前事業年度末から1,093百万円増加となりました。

主な要因は株式上場に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ627百万円増加、期末配当金232百万円の支払いと、四半期純利益72百万円の計上により利益剰余金が160百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年6月23日に開示した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,786,458	3,693,713
売掛金	993,409	1,845,343
商品	54,305	333,208
その他	120,083	85,937
流動資産合計	3,954,256	5,958,202
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	264,970	261,156
工具、器具及び備品（純額）	66,690	63,273
有形固定資産合計	331,661	324,430
無形固定資産		
ソフトウェア	661,559	656,428
その他	122,268	105,092
無形固定資産合計	783,827	761,520
投資その他の資産		
差入保証金	87,731	87,731
その他	25,038	15,003
投資その他の資産合計	112,770	102,734
固定資産合計	1,228,259	1,188,685
資産合計	5,182,516	7,146,887

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	990,803	1,897,598
未払金	245,198	227,483
未払法人税等	206,674	31,315
契約負債	129,027	339,309
役員賞与引当金	23,936	—
その他	73,023	43,885
流動負債合計	1,668,663	2,539,592
固定負債		
資産除去債務	43,816	43,863
役員退職慰労引当金	8,500	10,000
退職給付引当金	4,100	2,000
固定負債合計	56,416	55,863
負債合計	1,725,080	2,595,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,615	1,036,055
資本剰余金	381,374	1,008,814
利益剰余金	2,661,665	2,500,780
株主資本合計	3,451,654	4,545,649
新株予約権	5,782	5,782
純資産合計	3,457,436	4,551,431
負債純資産合計	5,182,516	7,146,887

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,492,783
売上原価	1,968,392
売上総利益	524,390
販売費及び一般管理費	404,434
営業利益	119,956
営業外収益	
雑収入	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	0
上場関連費用	9,519
株式交付費	4,192
その他	9
営業外費用合計	13,721
経常利益	106,234
税引前四半期純利益	106,234
法人税、住民税及び事業税	24,099
法人税等調整額	10,108
法人税等合計	34,208
四半期純利益	72,025

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第1四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	健診ソリューション事業	健康管理クラウド事業	医療機関等支援事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,118,443	315,481	58,858	2,492,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,118,443	315,481	58,858	2,492,783
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△73,150	186,756	6,349	119,956

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月23日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2025年6月22日を払込期日とする一般募集増資による新株式550,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ627,440千円増加しております。

その結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が1,036,055千円、資本剰余金が1,008,814千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	66,342千円

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2025年6月23日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年5月19日及び2025年6月3日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を決議し、2025年7月24日に払込が完了いたしました。

① 募集方法 : 第三者割当 (オーバーアロットメントによる売出し)

② 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 224,900株

③ 割当価格 : 1株につき 2,281.6円

④ 払込金額 : 1株につき 2,082.5円

この金額は会社法上の払込金額であり、2025年6月3日開催の取締役会において決定された金額であります。

⑤ 資本組入額 : 1株につき 1,140.8円

⑥ 割当価格の総額 : 513,131千円

⑦ 資本組入額の総額 : 256,565千円

⑧ 払込期日 : 2025年7月24日

⑨ 割当先 : 野村證券株式会社

⑩ 資金の使途 : 設備資金としてシステム開発費、運転資金として人材採用費及びシステム利用費に充当する予定であります。